

鼻異物抜去とは

鼻異物抜去術とは、鼻腔周辺を切開し、鼻に挿入していたプロテーゼやオステオポールなどの人工物を取り除く手術です。手術後は人工物の高さ分、鼻が低く平たくなります。

鼻異物抜去術後の状態・ケアについて

- ・当日と翌日は長時間の入浴はなるべく避け、軽いシャワー程度にしてください。術後1週間程度は血流が良くなることでの腫れを防ぐため、熱いお風呂を避けていただくことをおすすめします。
- ・1週間後に来院していただき、抜糸を行います。
- ・メイクは翌日から可能ですが、最初のうちは周辺に触れる際はなるべく優しく、できる限り負担をかけないようにしてください。
- ・強い腫れは、1～2週間程度で引いていき、その後も時間の経過と共に腫れが引きます。
- ・内出血については、個人差がありますが数週間前後で消失します。
- ・術後は、しばらくの間鼻に強い力が加わらないようにしてください。とくに術後1週間程は鼻や傷口周辺が不安定な時期のため、なるべく鼻に負担がかからないよう充分に注意して生活してください。具体的には、うつ伏せで寝る、鼻を押す、ぶつける、鼻をかむ、人工物や傷口周辺を触るといった行為はできるだけ行わないよう充分ご注意ください。
- ・飲酒は血流が良くなり腫れが長引く原因になりますので、1週間ほどお控えください。
- ・運動は血流が良くなり腫れが長引く原因になりますので、軽い運動は1週間、激しい運動は当面の間お控えください。

※気になる症状がある場合には1ヶ月程度様子を見てください。1ヶ月以上経過しても違和感が継続している場合、クリニックまでご連絡ください。

※授乳中の方は、術後48時間は断乳して頂きますようお願い致します。

鼻異物抜去術で生じる可能性のあるリスクについて

【内出血】

鼻の周辺に内出血が生じる場合があります。最初は青黒い色みでその後黄色→肌色と変化していきます。出現や消失には個人差がありますが、数週間かかる場合があります。

【痛み】

術後に麻酔が切れると痛む場合があります。痛む際は処方される内服薬をお飲みください。

【腫れ】

当日より若干の腫れが起こります。概ね2週間ほどで腫れは引いていきます。

【感染】

感染が起きたり、挿入していた異物が表皮から露出している場合には、傷の治りが遅くなり、治療経過は長くなります。場合によっては抗生剤の投与を行うことがあります。

【しびれ】

手術により非常に細かく小さい神経を切ることがあり、術後痺れが残る可能性があります。多くの場合は3～4ヶ月で回復します。

【肥厚性瘢痕（ケロイド）】

ケロイド体質の方は傷が治る過程で皮膚が盛り上がりしてしまう場合があります。その場合、別途瘢痕に対する治療が必要になります。

【凹凸感】

人工物により鼻の皮膚が薄くなっていた場合や、人工物が露出していた場合、人工物周囲に石灰化が見られた場合には、抜去後も凹凸が改善しない、あるいは抜去する前よりも目立つことがあります。

【変形】

挿入していた人工物の偏りによって、鼻の変形が生じる可能性があります。

鼻異物抜去術をお受けいただけない方

妊娠中の方、親権者の同意がない未成年の方、鼻に怪我や炎症がある方、局所麻酔剤にアレルギーをお持ちの方は手術を受けられません。